



平成30年度12月号
埼玉県立上尾橋高等学校
保健室

平成最後の12月も残すところあと少し。あなたにとってどんな1年でしたか？
冬の寒さも、インフルエンザや感染性胃腸炎の流行もこれからです。
また冬休みはいろいろな誘惑や生活の乱れが心配です。
休み中も生活のリズムを整えて、3学期に元気な顔を見せてくださいね。

12月1日 世界エイズデー

12月1日は、WHO（世界保健機関）が定めた「世界エイズデー」です。エイズという病気のこと、その原因となるウイルスのことなど、あなたはどのくらい知っていますか？

✕ 「HIV」と「エイズ」って同じことでしょ？



✕ セックスさえしなければ、うつらないから平気！

✕ 感染してる人には近づきだけでヤバイって聞いた



✕ 感染したら、あとは死ぬのを待つだけなんだって

エイズやHIV、またその患者・感染者に対する偏見や誤解は根強く残っています。自分にも、友だちや家族など親しい人にも起こりうるからこそ、正しい知識をしっかりと学んでほしいのです。

平成30年度「世界エイズデー」のキャンペーンテーマ

UPDATE！エイズ治療のこと HIV検査のこと

HIV／エイズに関する取り組みは、大きな転換期となっています。HIVに感染してもいち早く治療を開始すれば、エイズの発症を防ぎ、また体内のウイルス量が減少するために、他の人への感染リスクが大きく低下することも確認されています。つまりHIVに感染しても、感染していない人と同等の生活が期待できるようになりました。

けれどそうした変化が、正確な情報として十分に伝わっているとは言えません。いまだ「治療法がなく」「死に至る」病気だという認識の人もあります。進歩するエイズ治療の現在とHIV検査の重要性を伝えるには、知識のUPDATE（更新）が必要です。それがHIV検査のいち早い受検につながり、エイズの蔓延を防ぎます。



大切なことだから知ってほしい 性感染症 (STI) の話



性行為で感染する病気

たった一度の性行為でも感染する可能性があります。また、自覚症状がない人も多く、知らないうちに大事なパートナーにうつしてしまったり、重症化するケースも。



他人事ではありません

性器クラミジア感染症について調べた研究では、性交渉の経験がある女子高生の13.1%、男子では6.7%で感染していたという報告もあります（日本性教育協会）。

主なSTI

梅毒

近年、爆発的に増加。陰部や口にできる痛みのない赤いしこりが主な初期症状。

性器ヘルペス

無症状の場合もありますが、性器に水疱ができ痛みが出て、再発を繰り返す場合も。女性に多いです。

性器クラミジア感染症

非常に多い性感染症。男性は尿道に炎症を起こし、排尿時にしみたりします。女性は不正出血や下腹部痛などが症状です。

淋菌感染症

男性に増加中。症状は、男性では強い排尿痛、尿道からの多量の分泌物など。女性ではおりものの増加や、排尿痛、頻尿があります。

尖圭コンジローマ

性器や肛門周辺にいぼがびっしりできます。がんの原因になる危険も。

トリコモナス症

女性に多く、悪臭のするおりものやかゆみがあります。不妊の原因になります。

B型肝炎

全身のだるさや黄疸などが出る場合があります。

エイズは普通の生活ではうつりませんが、性行為によって感染する性感染症 STI(エスティーアイ)の一つです。性感染症は、すぐに命に関わる病気ではないように見えますが、放っておくと人にうつしたり、不妊の原因になったり、最悪死につながることもあります。自覚症状の少ないものも多いので、すでに感染しているかもしれません。おかしいと思ったら女の子は産婦人科、男の子は泌尿器科へ行きましょう。早期治療が大切です。

保護者のみなさまへお知らせ

外部講師をお迎えして、本校体育館で講演会が行われます。保護者の方も参加が可能ですので、希望される場合は事前に担任または保健室へご連絡ください。

12月17日(月) 9:30～性教育講演会

「正しい知識があなたを守る！いつか必ず役に立つライフスキル講座」

埼玉医科大学 産婦人科医師 高橋 幸子 先生

12月19日(水) 9:30～薬物乱用防止講演会

「STOP the 薬物 断る勇気が未来をつくる」 薬物乱用防止指導員 垂水 初美先生

